

京都やましろ旅のたより_{2月号}

2月号テーマ

「春を待つ」

1面 振興局「我がまち観光自慢合戦」

2面 城陽市「梅まつり」

3面 山城町「いごもり祭」

4面 旬のイベント情報

振興局「我がまち観光自慢合戦」

編集・発行：京都府山城広域振興局 商工観光室

〒611-0021京都府宇治市宇治若森7-6 TEL 0774-21-2103

E-mail : yamashin-no-shoko@mail.pref.kyoto.jp

※インターネットでも御覧いただけます

<http://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/works/nourin/>

[ocha-kan/kanko/tayori.html](http://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/works/nourin/ocha-kan/kanko/tayori.html)

寒さの厳しい日が続きますが、風邪などひかれていませんか？本当に暖かな春が待ち遠しいですね。今月は「春を待つ」として、城陽市さんと山城町さんにお薦めイベントを紹介していただきます。

また、春の観光シーズンを前に3月4日（土）に行います「やましろ観光キャンペーン『我がまち観光自慢合戦』」もお知らせいたします。皆さん、JR京都駅ビルへ、そして早春の山城へ足をお運びください！

やましろ観光キャンペーン 我がまち観光自慢合戦 in 京都駅ビル

平成18年3月4日（土）の午前11時から、JR京都駅ビル イベントスペースにおいて、やましろ観光キャンペーン「我がまち観光自慢合戦」を行います。（詳細4面）

今日は、向日市から御出演いただく向日市商工会の大塚正洋会長にお話を伺いました。

向日市の良いところを教えてください。

当然、仕事柄ですが、少し市内を離れると竹林が豊富にあることです。

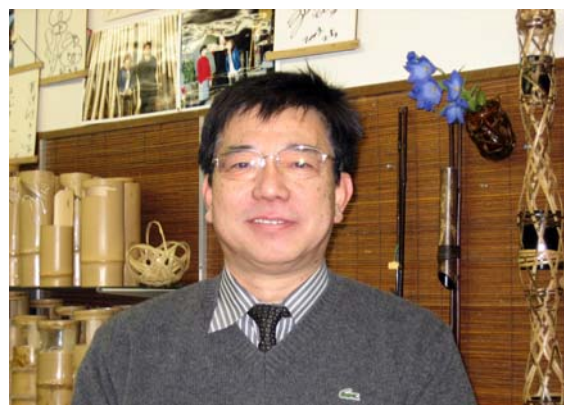
交通も便利ですね。京都の中心にすぐ行けます。昔の長岡京の都も実は向日市を中心にあつたんですよ。

向日市といえば何を思い浮かべられますか？

もちろん『竹です』。ただ、現在では竹はそれだけでは主役になれなくなってきました。竹でなくてはダメなのは茶筌くらいでしょうか。筍は絶品ですね。

それに、「竹林浴」は「森林浴」よりマイナスイオンが多いと言われてます。

嵯峨野の竹垣は、アマチュアの人で作られたそうですが、向日市の「竹の径」は我々竹の業者が作りしました。ぜひ、見に来てください。



(写真：向日市商工会 大塚会長)

！ 普段は「脇役」の竹が3月4日には「主役」に！向日市をPRしてくださる大塚さんへ声援をお願いします！
！ あなたのまちの自慢は、どんなものが飛び出すんでしょう？ぜひ、お越してください！

城陽市

青谷梅林

梅まつい

起源については、あきらかではありませんが、後醍醐天皇の皇子宗良親王の歌に「風かよふ綴喜の里の梅が香を空にへだつる中垣ぞなき」とあることから鎌倉末期ごろにはすでに梅林があったと思われます。

徳川時代に淀藩から梅樹栽培の奨励を受け、大いに植樹されたと伝えられています。

明治 23 年（1890 年）伏見宮文秀女王が来臨され「青谷の梅咲きたりとここかしこ人まち顔に鶯の鳴く」と歌われました。

現在、梅林の広さはおよそ **20 ヘクタール**

で、主な品種は城州白（梅菓子・梅干用等）、白加賀（梅酒用）、オタフク、ダルマ（小梅）青軸・鶯宿・玉英などがあります。

毎年 2 月から 3 月にかけては**約 1 万本**

の白梅が咲き誇り青谷は大きな白布を広げたように白一色となり、どこまでも梅の香りにつつまれる感じになります。また、6 月から 7 月に約 130 トン近くの梅の実が収穫されます。



（青谷梅林の様子）

梅まつい（平成 18 年 2 月 19 日（日）～3 月 21 日（祝））

中中山の梅林約 1 ヘクタールを開放！白梅の香を満喫してください！

催し物として、毎日曜日・祝日にはもちつき大会、毎日曜日には焼きいもの販売を致します。期間中売店には城陽の梅を使った特産品（梅干・梅エキス・梅肉・梅ジュース・梅ジャム・梅酒・梅ご飯等）やうどん・おでん・花の苗等を販売。

2 月 26 日（日）には梅探検を山背古道探検隊主催で、また 3 月 5 日（日）にはスタンプラリーを城陽市観光協会主催で行います（事前申込要、2 月 21 日以降受付開始）。ぜひ、ご参加ください。

【アクセス】 ●JR 奈良線「山城青谷」駅下車、徒歩 20 分

●近鉄京都線「大久保」駅下車、京阪宇治交通バス「大久保」から「たつみ畑」下車（国立病院行き）（維中前行き）、徒歩 15 分

【駐車場】 有（有料）。近隣の方々に交通渋滞のご迷惑をお掛けしますので、徒歩と公共交通機関をご利用ください。

【問合せ先】 青谷梅林振興協議会事務局 Tel.0774-56-4005

城陽市役所産業活性課 Tel.0774-56-4019

城陽市観光協会事務局 Tel.0774-56-4029

山城町

いごもり祭 (居籠祭)

それでは、3日間にわたって行われる「いごもり祭」についてご紹介しましょう。

門の饗応 (かどのきょうおう)

2月15日の午後7時頃から行われる「門の饗応」は、拝殿の中に氏子の中でも特定の家で構成された宮座の者が着座し、清めの儀式や御神酒の儀式を行います。それが終わると、境内で松明に点火し、神主が祝詞をあげ、五穀豊穡、悪霊退散を祈ります。これを「大松明の儀」といい、最も知られている儀式です。

勸請縄奉納の儀 (かんじよなわほうのうのぎ)

2日目の2月16日は、午後2時頃から歩射座と古川座の宮座の人々が、大きなかんじよ縄を涌出宮へ奉納する「勸請縄奉納の儀」が行われます。

饗応の儀 (きょうおうのぎ)

3日目の2月17日は、午後2時頃から拝殿において、祭のクライマックスといわれる「饗応の儀」が行われます。15日の「門の饗応」と同じく、御供や御神酒の儀式を行ったあと、杯ごとという三三九度の古い作法をとり行います。

以上、御紹介しましたが、実際の「いごもり祭」は、前年の12月16日のもりまわしから、2月18日 未明の明けの太鼓をもって終了するという長い祭事です。南山城地方最古の奇祭と言われるこの祭を、ぜひ御覧ください。

今回御紹介する「居籠祭 (いごもりまつり)」は、その字のとおり、建物に忌み籠もって五穀豊穡、悪霊退散を祈願するお祭です。国の重要無形民俗文化財に指定されています。

祭の起源については諸説ありますが、崇神天皇の時代に、天皇の一族で山城地方の統治を任されていた武埴安彦命 (たけはにやすひこのみこと) が反乱を起こし、敗北してこの地で最後を遂げました。その後、数多くの戦死者の霊が祟り、悪疫が大流行し人々を苦しめたので、村人たちが、忌み籠って悪疫退散の祈願を行ったところ、悪霊が鎮まったのがおこりと言われていています。



(大松明の儀)

【ご案内】

日 時 平成18年2月15日(水)

~17日(金)

場 所 和伎神社(涌出宮)

山城町平尾里屋敷

アクセス JR奈良線「柵倉駅」東側

柵倉駅および神社周辺に駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

問合せ 山城町地域整備部産業建設課

TEL: 0774-86-6605



旬のイベント情報

- 2月10日 初午祭（向日市・勝山稻荷神社（向日神社内075-956-0217））
- 2月11日 竹送り（京田辺市・観音寺）（京田辺市観光案内所0774-68-2810）
- 2月11日 糠塚の神縄座（宇治田原町・浄土寺0774-88-3304）
- 2月15日～
17日 いごもり祭り（山城町・涌出宮（和伎神社））
（山城町産業建設課0774-86-6605）
- 2月19日～
3月21日 梅まつり（城陽市・青谷梅林）（城陽市観光協会0774-56-4029）
- 2月26日 第23回宇治川マラソン大会（宇治市・山城総合運動公園太陽が丘
0774-24-1313）
- 3月2日 関白忌（宇治市・平等院0774-21-2861）
- 3月5日 庭木の剪定教室（精華町・花空間けいはんな0774-93-0811）



やましろ観光キャンペーン

我がまち観光自慢合戦

～春爛漫！山城・春の陣～

日 時	平成18年3月4日（土）11:00～16:00
場 所	JR京都駅ビル イベントスペース（南北自由通路）
日 程	午前11時～ オープニングセレモニー 郷土芸能やクイズ等 正午～ 我がまち観光自慢合戦（前半戦） 郷土芸能やクイズ等 午後2時～ 我がまち観光自慢合戦（後半戦） 午後4時～ クロージングセレモニー

クイズ等に参加して下さった方にはやましろ地域の特産品をプレゼント！ぜひ見に来てください！